

【参考資料1】AAAアプリケーション棚卸サービスの成果物サンプル(2/6)

■ 成果物サンプル①: 棚卸結果報告書

棚卸分析結果を基に、アプリケーション資産の規模や未使用/未稼働プログラムの調査結果、ソフトウェアメトリクス分析結果等を取りまとめた報告書です。

3.1 棚卸結果に基づく対象システム資産の現状

1. 資産規模

資産規模は...

2.3.d ソフトウェアメトリクス分析 (5/6)

⑤. Halstead(算数子による複雑度)

■ サブシステム別の複雑な資産状況 (※バ本数)

サブシステム名	計算機語句数	変数	オペレータ	記号	合計	標準
システムA	100	50	20	10	180	150
システムB	200	100	40	20	360	300
システムC	300	150	60	30	540	450

■ 複雑な資産割合 (「複雑」=「やや複雑」+「かなり複雑」)

2.2.b 未使用/未稼働プログラム調査 (1/3)

分析のねらい 稼働していないプログラムを明確化し、対象システムのスリム化の可能性を探る。

①. 資産別の使用/稼働状況

■ 資産別の使用/稼働状況

資産種別	対象資産	稼働状況				未稼働状況								
		主数	副数	比率	主数	副数	比率	比率						
OS	20	1742	12	7	1521	128	0.20	15.13	1.8	0	0.0%	181	27.0%	
データベース	20	11020	20	12	9224	0.20	8.70	20.24	17	12	20.0%	2.70	2.62	40.0%
ミドルウェア	20	5313	14	6	5521	0.20	0.20	20.24	14	8	20.0%	0.20	0.20	50.0%

■ 資産別の稼働率(バ本数)

※「オンライン」は使用状況調査の際の基準となるため、使用率は100%となる。

資産別の使用/稼働状況の特徴を記述

※成果物サンプルは一例です。形式等、実際のサービスと異なる場合がございます。

